群馬交響楽団 GUNMA SYMPHONY ORCHESTRA × 高崎芸術劇場 TAKASAKI CITY THEATRE GTシンフォニック・コンサート vol.6

［指揮］尾高忠明 × ［ピアノ］小曽根真

TADAAKI OTAKA

MAKOTO OZONE

GT Piano Concerto Special

ピアノ・コンチェルト・スペシャル

あの日、クラシックへの扉を開いた巨匠と、再び。
ジャズの名手・小曽根真が挑むスペシャルプログラム――

若きベートーヴェンが描いた、ピアノとオーケストラの対話。

ベートーヴェン／
ピアノ協奏曲第2番

戦後の人間の孤独と不安、そして希望を描く、20世紀の名作。

バーンスタイン／
交響曲第2番《不安の時代》



2027年 2月7日〔日〕14:00開演（13:00開場） 高崎芸術劇場 大劇場

全席指定（税込） S席 5,000円　A席 4,000円　B席 3,000円（U-25 S席 2,500円　A席 2,000円　B席 1,500円）

※出演者・曲目はやむを得ない事情により変更になる場合がございます。※未就学児はご入場いただけません。※U-25料金は、公演当日25歳以下の方が対象です。当日年齢の分かる身分証明書をご持参ください。
※車椅子席、介助席のご購入は、高崎芸術劇場チケットセンターまで電話でお申し込みください。※やむを得ず中止になる場合を除き、一度購入されたチケットの払い戻し、交換はいたしかねますのでご了承ください。

主催：公益財団法人 群馬交響楽団　高崎芸術劇場（公益財団法人 高崎財団）

写真：尾高忠明 ©Martin Richardson　小曽根真 ©YOSUKE SUZUKI

GT *Piano Concerto Special*

ジャズ界で確固たる地位を築いていた小曽根真が、初めて人前でクラシックを演奏したのは2003年の秋。
尾高忠明が札幌交響楽団の定期公演に招き、モーツァルトのピアノ協奏曲を託したことが、その原点となりました。
クラシックへの扉を開いた二人が、いま高崎で初共演。
群馬交響楽団とともに、ベートーヴェンとバーンスタイン――時代とジャンルを超えた音楽の世界をお楽しみください。

指揮／尾高忠明 Tadaaki OTAKA, Conductor



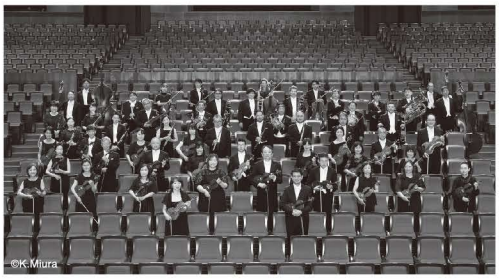
1947年生まれ。国内主要オーケストラへの定期的な客演に加え、ロンドン響、ベルリン放送響など世界各地のオーケストラへ客演。これまで91年度第23回サントリー音楽賞受賞。93年ウェールズ音楽演劇大学より名誉会員の称号、ウェールズ大学より名誉博士号、97年英国エリザベス女王より大英勲章CBEを、さらに99年には英国エルガー協会より、日本人初のエルガー・メダルを授与されている。2012年有馬賞（NHK交響楽団）、14年北海道文化賞、18年度関西音楽クリティック・クラブ賞本賞、大阪文化祭賞、日本放送協会放送文化賞、19年第49回JXTG音楽賞洋楽部門本賞を受賞、21年旭日小綬章を受章。
現在NHK響正指揮者、大阪フィルハーモニー交響楽団音楽監督、札幌交響楽団桂冠指揮者、東京フィルハーモニー響桂冠指揮者、読売日響名誉客演指揮者、紀尾井ホール室内管弦楽団桂冠名誉指揮者、東京音楽大学付属オーケストラ・アカデミー音楽監督、東京国際指揮者コンクール審査委員長。
東京藝術大学名誉教授、相愛大学、京都市立芸術大学客員教授、国立音楽大学招聘教授、桐朋学園大学特命教授に就任している。日本芸術院会員。

ピアノ／小曽根真 Makoto OZONE, Piano



ジャズ、クラシックの垣根を超えた独自のアプローチで世界的に活躍するピアニスト、作曲家。バークリー音楽大学卒業後、ゲイリー・バートンとの共演からジャズ界での国際的なキャリアをスタート。
チック・コリアやブランフォード・マルサリス、マイケル・ブレッカーなどの名だたるアーティストと共に活動し、ジャズシーンにおける確固たる地位を築く。その後、クラシックの分野でも、ニューヨークフィル、ベルリン放響など、世界の名門オーケストラと共演。
2022年からスタートした「From Ozone till Dawn」では、新世代アーティストの発掘・支援を行い、現在、そこで育成したミュージシャンと共に組むトリオ「TRiNFiNiTY」と国内外で活動。また、20年目となるビッグバンド「No Name Horses」での全国ツアー、メルボルン、モントルーなどの世界的なジャズフェスや、ラヴィニア音楽祭、ショパン祭などクラシックの祭典への参加が続く。
楽曲の原型の美しさへのリスペクトと、自身の鮮烈なパッションを両立させる新しい表現者として、今後も世界的な躍進を続ける。ニューヨーク在住。

群馬交響楽団 Gunma Symphony Orchestra



1945年戦後の荒廃の中で文化を通した復興を目指して創立 、1955年「群響」をモデルに制作された映画「ここに泉あり」が公開され、全国的に注目を集めた。1947年から始めた移動音楽教室は、2025年度までに延べ656万人を超える児童・生徒が鑑賞した。1994年に「プラハの春国際音楽祭」、「ウィーン芸術週間」から同時に招待を受け4カ国を巡る海外公演を実現。
群馬交響楽団は、定期演奏会、移動音楽教室をはじめ幅広い音楽活動を展開し、群馬県の文化の象徴として県民から幅広く支持されている。
また2019年9月開館の「高崎芸術劇場」に活動拠点を移し、さらなる演奏活動の飛躍・向上を目指している。
定期演奏会は2024年7月に第600回に達し、2025年に創立80周年を迎えた。

チケット料金（全席指定・税込）

S席 5,000円(U-25 2,500円)　A席 4,000円(U-25 2,000円)　B席 3,000円(U-25 1,500円)

※車椅子席、介助席のご購入は、高崎芸術劇場チケットセンターまで電話でお申し込みください。
※やむを得ず公演中止になる場合を除き、一度購入されたチケットの払い戻し、交換はいたしかねますのでご了承ください。

チケットのお求め（プレイガイドのご案内）

Web 10/9〔金〕10:00～

■高崎芸術劇場メンバーズ
https://takasaki-foundation.or.jp/theatre/membership.php

■群馬交響楽団チケットオンライン
https://yyk1.ka-ruku.com/gunkyo-s/

電話 10/13〔火〕10:00～

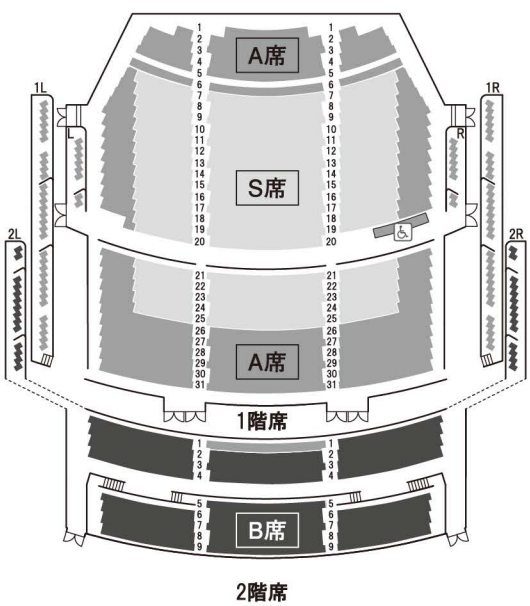
■高崎芸術劇場チケットセンター
027-321-3900（10:00～18:00／無休）

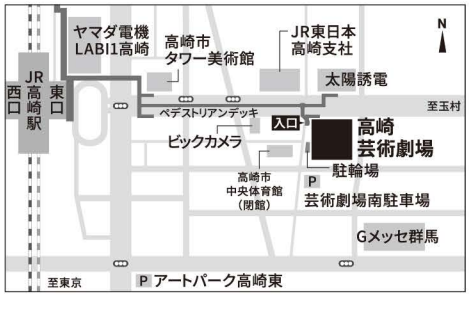
■群馬交響楽団事務局（10:00～18:00／土・日・祝休）
027-322-4944（チケット専用）

窓口 10/14〔水〕10:00～

■高崎市施設プレイガイド
（窓口発売初日10:00～受付開始）
※どちらの場所でも同じ座席をお売りしています。
- □ 高崎芸術劇場〈2Fチケットカウンター〉（10:00～18:00／無休）
- □ 群馬音楽センター（8:30～17:15／月休）
- □ 高崎市文化会館（8:30～17:15／月休）
- □ 高崎シティギャラリー（8:30～17:15／無休）
- □ 箕郷文化会館・新町文化ホール・榛名文化会館・吉井文化会館（8:30～17:15／月・火休）
- □ 高崎市倉渕支所〈地域振興課〉 高崎市群馬支所〈地域振興課〉（8:30～17:15／土・日・祝休）

■群馬交響楽団事務局（高崎芸術劇場3F）
（10:00～18:00／土・日・祝休）





小曽根真トリオ "TRiNFiNiTY"

2027年2月13日（土）16:00開演（15:30開場）
高崎芸術劇場 スタジオシアター
全席指定7,000円(U-25 2,500円)
【出演】小曽根真（ピアノ）、小川晋平（ベース）、きたいくにと（ドラムス）
【チケット発売】Web:10/23（金）　電話:10/27（火）　窓口:10/28（水）

【交通のご案内】高崎芸術劇場　〒370-0841 群馬県高崎市栄町9-1　TEL.027-321-7300
●JR高崎駅東口から徒歩5分（東京駅から新幹線約50分）
●関越自動車道・高崎インター・高崎玉村スマートインターから車で約15分（練馬インターから約60分）
※高崎芸術劇場に専用駐車場及び提携駐車場はありません。「近隣駐車場」「高崎芸術劇場シャトル」については高崎芸術劇場HP（右記のQR）をご覧ください。